

2025 年度第 2 回 CPD 協議会全体会議議事録

日時：2025 年 8 月 27 日（水）10:30～12:00

場所：日本工学会 4 階会議室

出席者：

（協議会運営委員 9 名 8 名出席）

五十嵐会長、本多敏副会長、高木真人副会長、奥津委員、大久保委員、松岡委員、石原委員、渡邊委員、原委員

（協議会委員 19 名 内 11 名出席）

大村委員、田上委員、田中委員、松尾委員、富松委員、山本委員、清水委員、浅井委員、松山委員、高田委員、井上委員、新宅委員、吹春委員、村田委員
長根委員、吉川委員、野原委員、武者小路委員、安住委員

議題：

- ① CPD 協議会運営委員会の活動内容報告
- ② 第 1 回公開シンポジウム内容について
- ③ 土木学会活動
- ④ 日本技術士会活動
- ⑤ ECE プログラム教育
- ⑥ 広報委員会活動
- ⑦ 世界エンジニアリングデー
- ⑧ 日本工学会HP見直し

配布資料：

0：第 56 回（2025 年度第 2 回）CPD 運営委員会議題（本紙）

1：2025 年度第 1 回 CPD 協議全体会議議事録

- ①：CPD 協議会の 2025 年間活動状況
- ②：2025 第 1 回 CPD シンポジウムプログラム案 1
- ③：2025 年 8 月 27 日__土木学会報告
- ④：2025 年 8 月 27 日建設系 CPD 協議会技術士 CPD 活動
- ⑤：ECE プログラム教育概要
- ⑥：No21_CPD 一口メモ内容__広報委員会
- ⑦ -1：第 6 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム開催報告
-2：第 7 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム準備状況
- ⑧：CPD 協議会会員学協会の CPD 情報（8 月 19 日までの回答結果）

議事内容

① CPD 協議会の 2025 年間活動状況について

五十嵐会長から資料に基づき、2025 年 1 月～現在までの実績及び 2026 年 3 月末までの予定について報告。

CPD 協議会全体会議は 2018 年 6 月まで全体会議を実開催してきたが、コロナ禍の影響もあり、それ以降書面開催済ませてきた。今回 8 月に久しぶりに Zoom 会議にて開催する。今後下期にも 2 月頃に開催し、2026 年度の CPD 関係の事業計画策定及び会員学協会の活動報告を受け、会員間の横通しを実施する。

② 2025 年第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムプログラム案

五十嵐会長から本年 11 月に開催予定の公開シンポジウムの開催内容について、本日の CPD 協議会運営委員会で作成した原案を全体会議に報告し、承認願いたいとの申し出あり、全体会議にて承認頂いた。この内容をベースに各講師の方に講演を依頼する。

開催日時：2025 年 11 月 21 日（金）9 時 30 分～11 時 40 分

テーマ：生成 AI が切り拓く学びの未来 工学人材の生涯教育に向けて

基調講演：人口知能学会会長 慶應義塾大学教授 栗原聡氏

講演Ⅰ：京都大学 大学院教育学研究科教授 明和政子氏

講演Ⅱ：富士通株式会社 富士通研究所 九州大学マス・フォア・インダストリー研究所 穴井宏和氏

司会：高木副会長

開会挨拶：五十嵐会長

パネリスト：栗原教授、明和教授、穴井氏

モデレータ：本多副会長（当日はベトナムからウェビナー参加）

閉会挨拶：高木副会長

なお、五十嵐会長から今回の開催案内の趣意書は生成 AI を使用して作成した旨の報告あり。生成 AI を使用すればわずか 20 分でこのシンポジウムの趣意書の作成が出来てしまう現実を踏まえ、今回のシンポジウムでは生成 AI の功罪を講師の先生方に話題提供頂き考えていきたいと話があった。

③ CPD 協議会会員の活動報告 土木学会報告

土木学会 大久保委員から土木学会における CPD 活動に関して報告。

取り組みの特徴として以下の点の紹介あり。

- ・土木学会では技術者の学びのニーズや社会の変化に対応した継続学習の機会拡大に努める。特に学習コンテンツの充実に努め、e-ラーニングの検討を進めている。
- ・対面での学びWebでの学びにはそれぞれ一長一短が「あり、土木分野では現場での学びが必要。どちらかに偏ることなく、バランスよく学ぶことが重要。

- ・OUTPUT型の学びには各技術者の経験や知識を世間にOUTPUTして社会に貢献する意識や行動が必要。

Q：奥津委員

- ・貴会 CPD 活動の熱心な維持・発展活動に対して敬意を表します。
仔細に活動アンケートをとられて、その結果を分析されていますが、その結果を会員にどう具体的にフィードバックされているのか。

A：大久保委員

- ・技術推進機構内部に継続学習委員会がありその中で分析し、機会を捉えて開催される講演会やHPを利用してフィードバックを会員へ戻しています。
その結果がCPD事業スパイラルアップにつながっている。

④ 技術士CPD活動

日本技術士会 松山委員から日本技術士会のCPD活動に関して報告。

- ・技術士会では、資質向上を図る機会をオンラインを含めた形で提供。
- ・これまでの対象は技術士、修習技術者としていたものに加え、IPD（初期専門能力開発）活動を行い、技術士を目指す技術者（非会員）にも、来年度から開始する旨、紹介があった。

Q：奥津委員

日本技術士会ではさまざまな専門分野の技術士がいると思うが、それらが専門分野ごとに活動をしているのか。

A：松山委員

日本技術士会の会員の内、7割が土木、その他が3割。ただし活動は専門分野に分かれることなく、一体で活動している。

C：高木副委員長

日本技術士会では技術資格だけでなく、技術者教育にも取り組まれている。CPDプログラム委員会でもこれらの活動を紹介して積極的サポートしていきたい。今年度から国もIPD活動を積極的に進めていくので、これに合わせて対応していきたい。

⑤ ECE プログラム教育の概要

奥津 ECE プログラム委員長から ECE プログラム教育の概要報告。

- ・ECE プログラムとは技術領域にまたがる課題を日本工学会に参加する学協会が連携して提供する継続教育のプログラム。
- ・高い志を持つ優れた技術者の育成を目指す。
- ・現在、4つのプロジェクト（SICE プロセス新塾、電気電子情報通信学会 ECE プログラム 2025、Nanobic ナノファイブススクエア ECE プログラム 2025、AI2OT ECE プログラム）を推進中。今後、新たにプログラムの増加を目指しているので ECE プログラム立ち上げのお手伝いを ECE プログラム委員会で対応するので声掛けをお願いしたい。

- ⑥ No21_CPD 一口メモ内容_広報委員会
原広報委員長から、日本工学会のHPに掲載している継続教育のきっかけに繋げるNo21_CPD 一口メモの紹介。
- ⑦ 世界エンジニアリングデー記念シンポジウム開催報告
高木副会長から世界エンジニアリングデー記念シンポジウムについて報告。
・ UNESCO の主催する世界エンジニアリングデーに関し、2025年3月4日に開催された第6回記念シンポジウム（多様性と包摂性のある社会のための工学の未来）の概要の説明。
・ 2026年3月4日開催予定の第7回の計画概要について紹介。
- ⑧ 日本工学会HP見直し
日本工学会 事務局からCPD協議会参加学協会CPD情報に関し、日本工学会のHP上にリンクされているものが、最新のものに見直された旨報告。
- ⑨ その他
五十嵐会長から次回全体会議は2月頃 Zoom 会議にて開催予定である旨報告。